

談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和2年(2020年)10月5日(月)

ゴールなき教師の道目指し

大学生 吉本真緒 21

高校時代に学校の行事で、15^{キロ}のロードレースを2度走りました。

最近、練習の日々とゴールの瞬間をよく思い出しします。ロードレースをこなすため、体育の授業では毎回練習を続けました。

長距離を走るつらい練習があったからこそ、15^{キロ}のロードレースを完走できたのです。

いま大学では、教師を目指すして学業に励んでいきます。社会人になるまでの今の時期は、ロードレースで

いう練習の日々だと思えます。

ただ卒業後に教師になることがゴールとは思いません。教師になれたとしても、教育現場ではさまざまなきことが起きるし、ゴールはありません。

理想の教師像や教育に向かって、ひたすら走り続けなければならぬでしょう。つまり社会人として、教員としてのあり方が、とても大切なんだと考えています。

(京都府精華町)